

授業科目 基礎看護学 II

【担当教員名】 川崎 久子、石塚 敏子		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	○	○	
【一般目標：GI0】 対象者の治療過程を支援する看護師の役割を理解し、診断・検査・治療に関連した看護技術の基本的知識と科学的根拠に基づく原理原則を理解する。					
【行動目標：SBO】 1. 治療過程を支援する看護師の役割を述べる。 2. 感染予防における看護技術の原則を述べる。 3. 創傷管理の基礎的知識と看護技術の種類と適用を説明する。 4. 排尿障害の基礎的知識と看護技術の原則を述べる。 5. 薬物療法の基礎的知識と薬物療法を支援する看護技術の原則を述べる。 6. 検査における援助の原則を列挙する。 7. 呼吸管理の基礎的知識と看護技術の適用を説明する。					
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	科目ガイダンス・感染予防の看護技術・創傷管理の看護技術		1・2	講義、担当：川崎 久子	
2	排尿障害を支援する看護技術		4	講義、担当：石塚 敏子	
3	薬物療法を支援する看護技術 1		5	講義、担当：川崎 久子	
4	薬物用法を支援する看護技術 2		5	講義、担当：川崎 久子	
5	検査における看護技術		6	講義、担当：石塚 敏子	
6	呼吸療法における看護技術 1		7	講義、担当：川崎 久子	
7	呼吸療法における看護技術 2		7	講義、担当：川崎 久子	
8	まとめ		1～7	GW、担当：川崎 久子 他	
【使用図書】		<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格 他>			
教科書 (必ず購入する書籍)		系統看護学講座 専門 I 基礎看護技術 II 基礎看護学 3 任和子 他 医学書院 2013・2,900 円＋税			
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 授業に基づく課題レポート 30% 学科試験 70%		【履修上の留意点】 身体に侵襲のある医療処置を安全に提供するためには、人体の構造と機能の知識が不可欠です。既習の知識を復習の上、授業に臨んでください。			